

柱等の木材、合板に噴霧液を噴霧

木材や合板に噴霧を行います。噴霧液は白色ですが、乾燥後は透明になります。サッシ等に付着してもハウスクリーニングで簡単に落とせます。この作業が接着等に影響を与えることはありません。

目的

噴霧することで木材に含まれる有害化学物質を低減します。
リバーコートやリバーワックスの塗布前にこの作業を行うことで化学物質の低減効果が高まり、完成後の臭いに差が出ます。
柱や合板のほか、注文家具・造作家具を作る際の集成材、リバーワックス塗布前の無垢材などにも施工すると効果的です。

施工手順

(1) 下記の材料をポリ容器に入れてよく攪拌し、噴霧液を作ります。

※下記分量での噴霧目安は延床面積 30 坪程度の住宅 1 棟分です。



① リバーシーラー 1L



② 工事用リバー溶液 1L



③ リフレパウダー 30g
事前にお湯で溶いておきます。



④ セラミック水 18L
水道水に工事用セラミック水を入れて3時間漬けておきます。

(2) 噴霧器などでまんべんなく噴霧し、噴霧後はよく乾燥させてください (1～2 日程度)。



(1) で作った噴霧液を市販の噴霧器に入れます。



先端部分が伸縮できる噴霧器を使うと効率よく作業できます。



合板に噴霧する際は、初めに重ねた状態で側面に噴霧した後、1枚ずつ両面に噴霧します。

注意事項

- 作業終了後は速やかに噴霧器を洗浄してください。噴霧液は糊成分を含むため、長時間放置するとノズルが詰まる恐れがあります。
- 必ず養生してから施工してください。吹き付けた噴霧液が垂れて床などを汚すおそれがあります。(垂れる噴霧液は木材の色で茶色になっています)
- 噴霧後の合板からは多量の有害化学物質が発散しますので、必ずマスク等を着用して施工してください。
- 完成時に表面が出る木材(床柱、大黒柱、無垢材)は、事前に目立たない箇所で試し施工をしてください(杉材など、赤い部分はさらに赤色になります)。

床下地合板にリバーコートを塗布

床材施工前の下地合板にリバーコート塗布 (1 回塗り)。
<乾燥時間の目安> 夏季: 2～3 時間 冬季: 半日～1 日程度

施工手順

養生をしてからローラーで塗布します。
リバーコート 1 セットで約 80m²※分の合板に塗ることができます。
※素材によって塗布面積が多少異なります。針葉樹の場合は塗布面積が少なくなり、耐水合板の場合は増える傾向があります。



フローリング等の床材張り付け前に塗布します。



ムラができないよう、一定の方向に向けて塗布してください。



断面からも有害化学物質が発散しますので、刷毛等を使って塗るといっそう効果的です。

注意事項

- 必ず養生してから施工してください。
乾くと落ちなくなるので、衣服や床などに付着した場合はすぐに水洗いするか拭き取ってください。
- 塗布作業中はこまめに攪拌し、珪藻土が沈殿しないようにしてください。
リバーコートは液体と珪藻土との混合物ですので、比重の違いで珪藻土の方が早く沈殿します。攪拌を怠ると珪藻土が沈殿して液体だけを塗布することになってしまい、**リバーコートの効果が十分に発揮されません。**
また、攪拌が不足するとシーラーが沈殿して塗布量が不足するため**接着力が低下**します。フローリング等床材の接着不良を引き起こす原因にもなりますので、攪拌は十分に行ってください。**別容器に小分けする際も必ずよく攪拌してから移してください。**
- 塗布後は風通しをよくして乾燥させてください。
熱による急激な乾燥はひび割れの原因になりますので避けてください。
- 塗布後はブルーシート等で必ず養生してください。
養生しないまま木工作业や石膏ボード施工を行うと、作業で発生した粉じんが付着することでフローリングの施工時に接着不良を引き起こす場合があります。
フローリングの張り付け前には掃除機を使って十分に清掃してから施工してください。